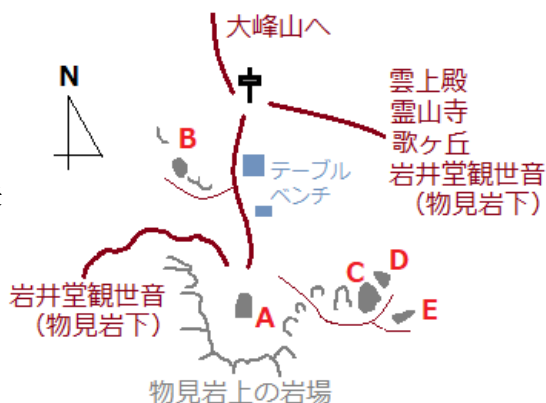


# 信州長野 物見岩ボルダー

令和4年3月18日 RCT/K

今冬の奥信濃は例年にない大雪で雪掻きが大変だった上に、除雪車の通過後の凍結に気づかず転倒し肩の靭帯を痛めてしまった。結局他の事情も重なり3ヶ月近くクライミングができない状態が続いた。

3月に入り大分肩も癒えてきたので、体調を整える意味で雪の少ない長野市の裏山へ半日程度のハイキングに出かけた。地附山の「いにしえコース」から大峰山を回り、下山は昔クライミングをしたことのある物見岩を通して下った。物見岩の上で展望を楽しんだ後、帰り際に何気に横の斜面を見ると、岩が見えたので確認してみると、ま



まずまず下地が安定しているボルダーが幾つか確認できた。その後、近場のボルダーは4月頃まで雪が消えない雰囲気があり、肩の調子を確認する意味もあって、見つけたボルダーへ久しぶりのボルダリングに行ってみたので紹介したい。易しい課題ばかりなので、ボルダーだけを目的に遠くから行くほどのものではないが、物見岩でのクライミングの機会に興味があったら覗いてみていただきたい。

岩質は凝灰岩系でちょっと有笠山に似ている。概ねホールドは大丈夫そうだが一部脆いところがある。下地に岩があったり、傾斜しているものもあるので注意を要する、

アクセス及びアプローチはネット検索で情報が得られるが、駐車場については明確な説明がなく、ハイカーが利用する所に駐車するのが無難のようである。また、アプローチについては、雲上殿先の登山道(レストラン「青い銀河」手前の古い民家先を山側に入るが少し荒れている)を入ったほうが時間的には早い。

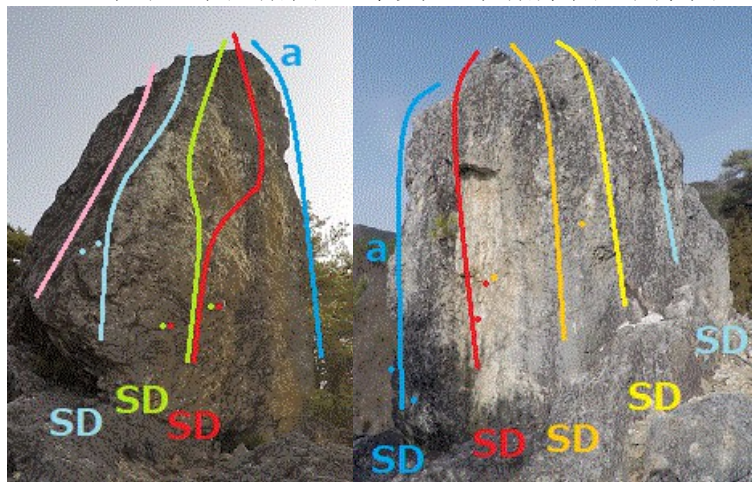
## 《課題紹介》

●A 岩 俗称「チンポコ岩」と言うらしいが正式名は不明。この岩はボルダーとして昔から登られているようだが、トポが見当たらないので紹介することにした。下地が悪いので、クラッシュパッドがない時は無理をしない方がよい。

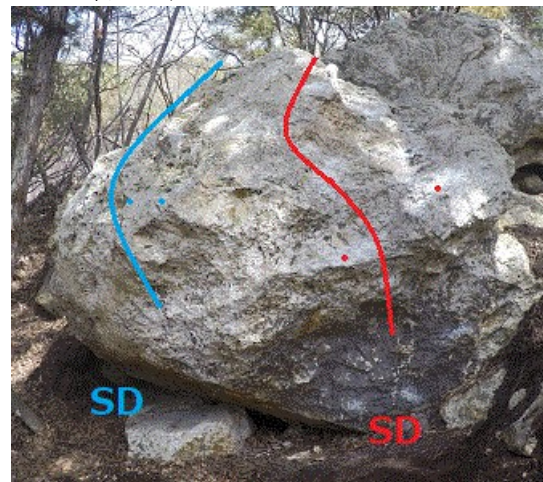
写真では分かりにくいですが、北西面と南面の水色ラインと青ライン、南東面と北東面の青ラインとオレンジラインはカンテラインである。南面の赤ラインは左右のカンテは不使用の限定あり。

●B 岩 休憩用のテーブルから西にちょっと降りたところにある岩。赤ラインがムーヴがあり面白い。

左:A 岩北西面と南面 中央:A 岩南東面と北東面



右:B 岩

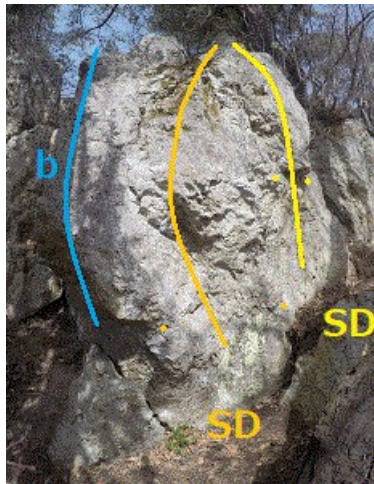
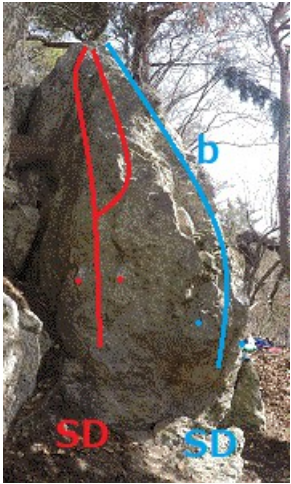


●C岩 A岩から東側にちょっと降りたところにある岩。高さはあるが上部は易しい。

赤ライン左は右のカンテのガバは不使用。青ラインはカンテラインでスタートホールドはガバの少し下のカチホールド。オレンジラインは両手サイドプルで身体を上げカチにデッド。

●D岩 C岩の右にある岩。スタートで体が上がれば後は易しい。

左:C岩カンテ左のフェイス 中央:C岩カンテ右のフェイス 右;D岩



●E岩 D岩の下にあるハングした岩。

ハング右の縁を登るが、脆い部分があるので、最初にホールドチェックはしっかりしたい。

